

指導行政のポイント

史上最大規模の“理科設備”予算

菱村 幸彦

平成 21 年度の補正予算が成立した。前回 (293 号), 補正予算で「教育の情報化が一気に進む」と書いたが, もう 1 つ, 一気に進むものがある。それは理科教育設備の整備だ。

15 年分の設備整備が一挙にできる

今回の補正予算は, 超大型予算であることは前回述べた。その中で「底力発揮・21 世紀型インフラ整備」として, 新学習指導要領の実施等のための教育環境の整備の柱が立てられ, 288 億円が計上されている。そのうち 200 億円が理科教育設備整備のための予算である。文科省はこれを「史上最大規模の予算」と呼んでいる。

確かに, これまでに例をみない大型予算だ。というのは, これまで理科設備整備費は, 各年度せいぜい 13 億円から 20 億円程度だったが, それが一挙に 200 億円となったからである。平年の 10 倍から 15 倍もの超大型予算で, まさに「史上最大規模の予算」というにふさわしい。

これだけ一挙に予算が増え, 全国津々浦々の学校で一斉に理科設備を整備するとすると, 備品の供給が間に合わないのではと心配になる。しかし, 文科省は, 教材を供給している業者に, すでにご協力を依頼してあるので, 心配はいらないと保証している。むしろ, この際, 各自治体が 15 年分の設備整備をする意気込みで補助金の申請をしてほしいと言っている。もし万一, 供給が間に合わずに, 学校への納品が遅れた場合は, 平成 22 年度に支出を繰り越すことも可能という。

周知のように, 新指導要領では, 理科の授業時数が大幅に増えている。すなわち, 小学校では, 350 時間から 405 時間 (16% 増) に, 中学校では, 290 時間から 385 時間 (33% 増) に増えている。これに

伴い, 指導内容も充実し, 観察・実験も増える。となると, 各学校において理科設備の整備が欠かせない。

しかし, 新指導要領の指導内容に対応した設備の多くは未整備である。また, 一応, 設備はあっても, 老朽化して観察・実験に適さないものも少なくない。で, 移行期間中に新指導要領に対応した設備の整備を行い, 老朽化した設備の更新を急いで, 集中して推進することが課題となる。今回の補正予算は, まさにその課題を一気に実現するチャンスなのだ。

少額設備も補助対象としている

もう 1 つ, 今回の予算の特色は, 少額設備についても補助の対象としていることだ。通常, 理科教育設備整備費補助金を受けるには, 設備単価の下限 (小学校 1 万円, 中学校 2 万円, 高等学校 4 万) の制限があるが, 新指導要領が全面実施されるまでの間の時限措置として, 下限の制限を撤廃している。

例えば, 小学校でいえば, 手回し発電機, 送風機, 上皿はかり, 中学校でいえば, 電流計, 電圧計, 安全めがね, 発電コイルなども対象となる。また, ビーカーやフラスコなど壊れやすいものも購入可能である。

ところで, 理科設備の補助率は, 2 分の 1 (ただし沖縄 3 分の 4) なので, 補助裏分として 2 分の 1 の地方負担が必要となる。しかし, これについては別途「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」が交付され, その中に, 理科教育設備整備の補助裏分として 200 億円が積算されている。教育委員会は, 財政当局に早期に働きかけ, 理科設備整備の財源を確保することが重要である。

(ひしむら・ゆきひこ = (財) 学習ソフトウェア情報研究所 理事長)

本紙は, <http://www.kyouiku-kaihatu.co.jp> でも掲載

■最新刊好評発売中!

市川昭午【著】 A5判上製 351 頁・定価 3,780 円

教育開発研究所

『教育基本法改正論争史—改正で教育はようになる』

全訂新版『はじめて学ぶ教育法規』菱村幸彦【著】B6 判・定価 2,205 円

研修誌・図書の小社への直接のお申込みは, 無料 FAX 0120-462-488 をご利用ください (24 時間受付・即日発送)